



少子化は全市的な傾向ですが、芳川地区では、松本市で生まれる赤ちゃんの1割強が生まれていて、年齢階層別の統計によると子どもの数は増加傾向に転じています。これは地域全体で子育て支援に取り組んで来た成果と言えます。引き続き地域づくりや青少年育成、子育てにご支援・ご協力をお願いします。

令和元年11月1日現在の芳川地区の人口が1万7千311人となり、初めて1万7千人の大台に乗りました。その後も順調に増え続け、令和2年1月1日現在では1万7千75人となり、この一年で170人と35地区で最大の増となりました。芳川村発足以降、記録が残る一番古い明治38年の人口、2千673人の6・4倍、昭和29年の松本市との合併時の4千641人と比較しても3・7倍で、昭和の合併地区でもっとも増えています。一方、松本市全体では、前年対比903人減の23万8千732人となり、人口減少に歯止めがかかっていません。

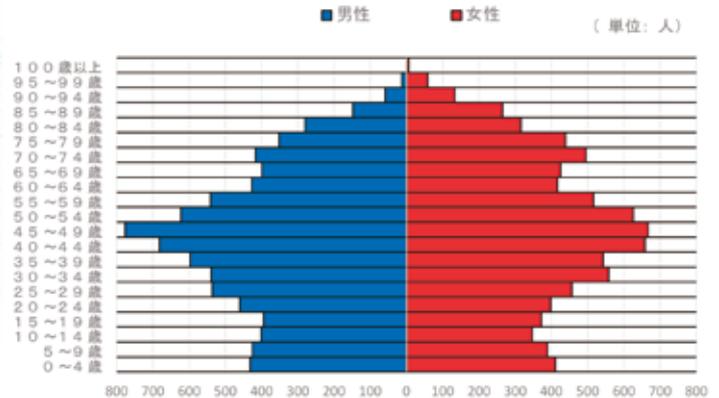
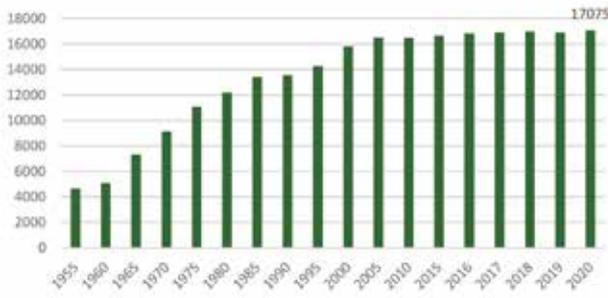
芳川地区、 人口1万7千人突破！ 子どもが増加傾向に。



令和2年1月1日 現在	総世帯数	7,746世帯
	総人口	17,075人
	男	8,543人
	女	8,532人

芳川地区男女別推計人口 (令和元年10月1日)

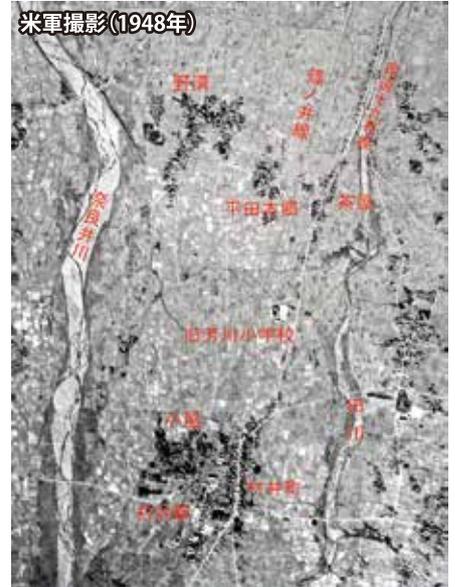
芳川地区人口の推移 (1月1日現在)



村井町南土地区画整理事業地 上空からドローンで撮影 (2018年)



米軍撮影 (1948年)



令和初！新年初釜



1月8日(水)福祉ひろばの井戸端サロン事業で柏澤公民館長が亭主となつての初釜が開催されました。末広がりの「八日」にちなみ、初夢の話や初が付く言葉(初鏡、初音、初茜などなど)についてのトークも楽しみながら、抹茶と花びら餅(初釜のお菓子の定番)を楽しみました。冬休みの最終日も重なり小学生も参加しました。始めは強い雨でしたが、終わるころには青空に。こいつあ春から縁起がいいや！

令和2年 芳川新年交流会開催！

1月10日(金)芳川公民館で恒例の新年交流会が盛大に開催されました。10数年前まで実施されていた新年会を地域づくり協議会のメンバーを主体とした交流会にスタイルを変えて今回で5回目、約80人が参加しました。

会場には、昨年一年間に新聞報道された記事が張り出され、一年を振り返るとともに、躍動する芳川地区の明日を語る集いとなりました。

今年、村井商工親和会の提供による地酒「夢来(むらい)」で高らかに乾杯し、地域の発展と芳川の住民みんなに夢がやって来る事を祈念しました。



令和二年



新年を祝う
伝統行事が
各町会で
笑顔と共に
行われました。

※公民館報編集日に間に合ったお写真を掲載しています。



【小屋 道祖神お札配り】



【木工 三九郎】



【平田 もちつき大会】



【北原町 子ども会おたのしみ会】



【村井町 三九郎】



【野溝 三九郎】

たちばなし

お正月の楽しみのも一つは年賀状です。子ども頃、何度もポストを覗きに行つて、一喜一憂した人も多いのではないのでしょうか。この年賀状を筆字で書く人はどの位いるのでしょうか。

私は、子どもにもパソコンで作ってもらつて出していました。二昨年からは筆字に挑戦しています。イベント会場の受付で記帳してくださいと筆ペンを渡されただけで固まってしまうほど苦手だったのに・・・

きっかけは「気の合う仲間間で書道教室を始めたいけど出てこない？」という一本の電話でした。当時、父、母、義父と相次いで見送つた私は、氣力を失い、半分引きこもり状態でした。心配した友達の心遣いがありがたく、参加してみました。一つのテーブルで顔を合わせ、おしゃべりしながら始まる教室。誰かの一言が、みんなの発想であちこちに飛び、大きく広がっていくのです。自作の短歌を短冊に書く、年賀状を作るのは、小さな夢の実現です。

今年は何んな夢を実現させようかと、いろいろ妄想しながらもワクワクしています。